

健康一口メモ「新型コロナウイルスワクチンについて」

COVID-19 の世界的流行から約1年を経て、昨年より海外諸国でワクチン接種が開始されました。本邦では2月から医療従事者の先行接種が行われ、その効果に期待が高まっています。一方新しいタイプのワクチンであることから様々な不安を感じていらっしゃる方も多いため、現在までに確認されている情報をお知らせします。

1. 新型コロナワクチンの種類と仕組み

最初に導入されたワクチンはファイザー・ビオンテック社とモデルナ社の新技術を用いた mRNA（メッセンジャー RNA）ワクチンです。mRNA とは体の細胞の中で蛋白を合成するために必要な遺伝子です。この遺伝子は新型コロナウイルスの一部であるとげ（スパイク）部分だけを合成します。接種後には体の中にとげ蛋白がつくられるので、それを異物と認識して免疫抗体を作ります。この抗体が真のウイルスが侵入するときにスパイクに密着し、感染しないように働きます。

2. 効果について

海外のデータでは感染防止効果が 95%と報告され、現存のワクチンと比較して高い有効性が示されています。しかしながら接種率をどの程度高めれば流行の蔓延が収束できるか、先行諸国の経過を見ていく必要があります。

3. 副反応の起こる頻度

筋肉注射なので接種した部位の疼痛や発赤が比較的多くの方（60～80%）にみられます。また2～3日以内の発熱が10～30%程度、頭痛やだるさなどの軽微な症状を感じる場合があります。重篤なアレルギー反応であるアナフィラキシーは10万人のうち1名程度と報告されていますが、いずれも適切に治療することで改善しています。

4. 接種に注意が必要な方とは

今までに重症のアレルギーを起こしたことがある、持病が進行している、免疫抑制剤（免疫を弱める薬）を内服している方などは接種要注意であるとされます。

該当されると思われる方は早めに主治医にご相談いただき、接種が円滑に進むようご協力のほどお願いします。